

■堀内正美思い出の作品アルバム

▶デビュー作のTBSの金曜ドラマ『わが愛』（脚本・早坂暁、演出・大山勝美、1973年）写真右は共演の山崎努氏。小六（堀内正美）は兄嫁のお米（星由里子）に深い思慕を寄せていく……。



▲日本テレビの年末時代劇スペシャル『忠臣蔵』（監督・斉藤武市、1985年）では、剣の達人清水一学を演じた。「日本テレビの岡田晋吉プロデューサーに僕では無理ですと訴えたけど、勝野洋を堀部安兵衛にする青春ドラマだから出来ると説得されてしまった」と堀内さん。思い出深い番組の一本。▲NHK少年ドラマ・シリーズの挿尾を飾った秀作『七瀬ふたたび』（脚本・石堂淑朗）・NHKビデオからDVDも発売中。七瀬（多岐川裕美）を助ける恒夫を熱演した。1979年、「僕はまだ29歳でした。忘れられない一本ですね」と堀内さん。



▲『ウルトラマンダイナ』の実相寺演出がさく裂した『怪獣戯曲』の撮影後、晴海で記念写真。実相寺作品と共に後に常連となる河崎実監督ともこのゲストで初めて会ったという。『怪獣戯曲』のマシンガンのようなセリフの密度は必見必聴なのだ！

▲東芝日曜劇場の北海道放送制作の『旅ゆけば』（脚本・田中陽三）。「日本版『スケアクロウ』で、僕が都会の医者の子でノイローゼ、声だけ出てくるママの岸田今日子さんに車で一人旅を勧められて、札幌の公園で歌うヒッピーの鈴木ヒロミツさんを乗せて始まるロードムービー。おもしろい作品でした」と堀内さんは語る。1974年作品。